



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月2日

上場会社名 東洋埠頭株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9351 URL <http://www.toyofuto.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 匡史  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 佐古 一彦 TEL 03-5560-2702  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	25,768	△2.5	1,022	△18.9	1,156	△21.5	724	△1.9
2020年3月期第3四半期	26,416	2.3	1,260	△7.6	1,472	△4.3	738	△25.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,327百万円 (48.8%) 2020年3月期第3四半期 892百万円 (74.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	94.12	—
2020年3月期第3四半期	95.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	38,907	21,157	54.1	2,731.17
2020年3月期	38,271	20,217	52.5	2,610.78

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 21,035百万円 2020年3月期 20,109百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△2.1	1,400	△4.0	1,600	△7.4	1,000	△20.1	129.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	7,740,000株	2020年3月期	7,740,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	38,044株	2020年3月期	37,628株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	7,702,256株	2020年3月期3Q	7,702,542株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、P. 2をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(四半期連結貸借対照表関係)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、貨物の荷動きが低下し、厳しい状況となりました。国内総合物流事業の営業収入は232億8千7百万円（前年同期比3.1%の減収）、営業利益は9億2千5百万円（前年同期比20.4%の減益）となりました。

倉庫業は、輸入青果物の取扱いは堅調に推移したものの、紙類、石油化学品、サイロ貨物などの取扱いが減少し、入出庫数量は257万トン（前年同期284万トン）、平均保管残高は29万トン（前年同期30万トン）となりました。

港湾運送業は、ばら積み貨物の穀物類、石炭の取扱数量が減少し、355万トン（前年同期371万トン）となりました。コンテナ取扱数量は、川崎港での取扱いは増加しましたが、志布志港での取扱いが減少し、197千TEU（前年同期201千TEU）となりました。

自動車運送業は、荷動きの低迷により、取扱いが大きく減少しました。

その他の業務は、物流関連施設の賃貸収入などが堅調に推移し、前年同期並みとなりました。

国際物流事業の営業収入は26億8千5百万円（前年同期比3.6%の増収）、営業利益は8千9百万円（前年同期比2.2%の減益）となりました。ロシアでの倉庫事業拡大に伴い、貨物取扱いが増加したことから増収となりましたが、輸送費用などが増加し、減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収入は257億6千8百万円（前年同期比6億4千7百万円、2.5%の減収）となりました。人件費、物件費など、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は10億2千2百万円（前年同期比2億3千8百万円、18.9%の減益）と前期を下回りました。営業外収支で為替差損を計上したことなどにより、経常利益は11億5千6百万円（前年同期比3億1千6百万円、21.5%の減益）となりました。当期は大きな特別損失がなかったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2千4百万円（前年同期比1千3百万円、1.9%の減益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億3千6百万円増加し、389億7百万円となりました。株価の上昇による投資有価証券の増加や、有形固定資産の建設仮勘定の増加等に伴い、固定資産が5億7千8百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億4百万円減少し、177億4千9百万円となりました。借入金は長期短期合わせて2億1千7百万円増加しましたが、営業未払金、未払法人税等が減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億4千万円増加し、211億5千7百万円となりました。利益剰余金が3億3千8百万円、その他有価証券評価差額金が4億8千8百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は54.1%で前連結会計年度末比1.6ポイント上昇しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により、荷動きの低下などの影響があるものの、当社グループでは、営業活動による連結業績が概ね堅調に推移していることから、2020年5月19日の決算短信にて公表した連結業績予想につきましては変更していません。

今後、状況に変化が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,223	2,248
受取手形及び営業未収入金	4,109	4,079
原材料及び貯蔵品	250	246
前払費用	154	254
その他	551	516
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	7,285	7,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,913	53,317
減価償却累計額	△40,249	△40,755
建物及び構築物 (純額)	12,664	12,561
機械及び装置	20,622	20,881
減価償却累計額	△18,011	△18,262
機械及び装置 (純額)	2,611	2,619
船舶及び車両運搬具	1,210	1,238
減価償却累計額	△1,102	△1,116
船舶及び車両運搬具 (純額)	107	122
工具、器具及び備品	943	951
減価償却累計額	△842	△840
工具、器具及び備品 (純額)	100	110
土地	8,461	8,461
リース資産	113	127
減価償却累計額	△46	△54
リース資産 (純額)	67	72
建設仮勘定	0	358
有形固定資産合計	24,013	24,307
無形固定資産		
リース資産	1	0
その他	118	120
無形固定資産合計	119	121
投資その他の資産		
投資有価証券	4,734	5,365
長期貸付金	33	15
繰延税金資産	635	352
その他	1,477	1,431
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	6,852	7,135
固定資産合計	30,985	31,563
資産合計	38,271	38,907

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	3,080	2,890
短期借入金	5,374	4,998
リース債務	21	23
未払金	882	1,022
未払法人税等	378	35
設備関係支払手形	657	553
その他	1,000	923
流動負債合計	11,396	10,448
固定負債		
長期借入金	4,436	5,030
リース債務	48	51
退職給付に係る負債	1,966	2,014
役員退職慰労引当金	8	8
資産除去債務	55	49
その他	142	146
固定負債合計	6,657	7,301
負債合計	18,054	17,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	6,394	6,733
自己株式	△62	△62
株主資本合計	19,775	20,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	556	1,044
為替換算調整勘定	147	182
退職給付に係る調整累計額	△370	△306
その他の包括利益累計額合計	333	921
非支配株主持分	107	121
純資産合計	20,217	21,157
負債純資産合計	38,271	38,907

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収入	26,416	25,768
営業原価	23,738	23,171
営業総利益	2,677	2,597
販売費及び一般管理費	1,417	1,575
営業利益	1,260	1,022
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	153	155
受取地代家賃	65	60
持分法による投資利益	1	—
為替差益	11	—
投資有価証券売却益	—	3
その他	70	88
営業外収益合計	304	309
営業外費用		
支払利息	86	74
持分法による投資損失	—	2
為替差損	—	83
その他	6	15
営業外費用合計	92	175
経常利益	1,472	1,156
特別利益		
固定資産売却益	2	3
特別利益合計	2	3
特別損失		
固定資産除却損	61	79
火災による損失	354	—
特別損失合計	415	79
税金等調整前四半期純利益	1,058	1,079
法人税、住民税及び事業税	226	286
法人税等調整額	78	53
法人税等合計	305	340
四半期純利益	753	739
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	738	724

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	753	739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	486
為替換算調整勘定	△7	35
退職給付に係る調整額	19	64
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	1
その他の包括利益合計	139	588
四半期包括利益	892	1,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	877	1,312
非支配株主に係る四半期包括利益	14	14



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

前連結会計年度(2020年3月31日)

(当社川崎支店の火災について)

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し、近隣の施設に延焼しました。この火災事故につきまして将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では連結財務諸表に与える影響額を合理的に見積もることは困難な状況です。

なお、火災で焼失した当社の設備等に係る損失、それに伴う受取保険金は連結財務諸表に計上しています。

当第3四半期連結会計期間(2020年12月31日)

(当社川崎支店の火災について)

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し、近隣の施設に延焼しました。この火災事故につきまして将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響額を合理的に見積もることは困難な状況です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,974	2,442	26,416	—	26,416
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63	148	211	△211	—
計	24,037	2,590	26,628	△211	26,416
セグメント利益	1,161	91	1,252	7	1,260

- (注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,230	2,538	25,768	—	25,768
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57	146	204	△204	—
計	23,287	2,685	25,972	△204	25,768
セグメント利益	925	89	1,014	7	1,022

- (注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。